

S&P 500[®] 月例レポート (2021年10月配信)

S&P500月例レポートでは、S&P500の値動きから米国マーケットの動向を解説します。市場全体のトレンドだけではなく、業種、さらには個別銘柄レベルでの分析を行い、米国マーケットの現状を掘り下げて説明します。

S&Pダウ・ジョーンズが提供する指数に関する詳細はこちらをご覧ください。

(日本語サイト)

<https://www.spglobal.com/spdji/jp/>

S&P 500 月例レポート 執筆者



ハワード・シルバブラット

S&P ダウ・ジョーンズ・
インデックス
シニア・インデックス・アナリスト
howard.silverblatt@spdji.com

THE S&P 500 MARKET: 2021年9月

個人的見解: 9月は辛うじて乗り切ったが、10月も新たな試練が待ち構えている

月初の株式市場は好調で9月2日には（今年に入って54回目となる）最高値を更新しました（4536.95、2020年11月以降、終値での最高値を更新した日が毎月あったこととなります）。その後は、好調さを維持したまま月末を迎え、四半期を締めくくるはずでした（与野党の対立が続く政治の紛糾を尻目に）。しかしながら、実際には全く異なる展開となりました。9月は年間でパフォーマンスが最も低い月だという伝統を株式市場は見事なまでに踏襲し（これまでの9月の平均騰落率はマイナス0.99%で、53.8%の確率で下落しています）、（控えめに言っても）月末まで厳しい展開が続きました。公平を期するために言えば（短期的には弱気相場だが、長期的には強気相場）、損失は制御可能なもので、売りも秩序立っていました（1日の下げ幅が最大となったのは9月28日で2.04%の下落）。結局、9月の下落率は4.76%となりました

（月間の騰落率がマイナスになったのは2021年1月のマイナス1.11%以来。また、下落率は2020年3月のマイナス12.51%以来の大きさでした）。第3四半期は僅かに0.23%の上昇にとどまり（2020年第3四半期は8.47%上昇）、年初来では14.68%上昇（配当込みのトータルリターンはプラス15.92%）、コロナ危機前の2020年2月19日の終値での高値（3,386.15）からは27.21%上昇（同プラス30.62%）、直近最安値となる2020年3月23日（2,237.40）からは92.52%上昇（同プラス97.28%）となりました。再び、公平を期するために言えば（何度も同じ表現を使いたくはないのですが）、9月はのんびりとした夏季休暇を終えて市場が仕事モードに戻る月であり（これは疑わしいですが）、ワシントンの善人達も同様です。しかし今年のワシントンでは年次予算以外にも対応しなければならない問題があったようでした。政府予算が期限切れとなる数時間前につなぎ予算案が議会で可決され、大統領による署名がなされました（債務上限問題やいくつかの景気刺激策に関しては与野党間での協議が続いています）。また、お決まりの政治ゲームは

一段と激化しています（弊社のインデックス委員会に政治的緊張の市場への影響を計測するバックテストの実施を提案します）。米連邦制度準備理事会（FRB）は年内のテーバリング開始（終了時期は2022年半ば）に向けた（暫定）スケジュールを示すと同時に、（政策金利見通しをまとめたドットチャートと共に）2022年終盤か2023年初頭に利上げする可能性があることを示唆しました。当初の市場の反応は、調整には至らず僅かに下落した程度で、示されたスケジュールを受け入れていました。しかしその後、利上げに注目し、米国10年国債利回りは1.50%を突破しました

（1.56%まで上昇し、1.49%で9月の取引を終えました。2020年9月末は0.68%、2019年9月末は1.68%、1981年9月末は1桁違って15.85%でした）。こうした利回り急騰の背景には、年初からの値上がりを受けて利益確定売りのタイミングを待ち構えていた市場参加者（8月末時点での市場の年初来リターンは20.41%）、変異株の影響（大半の市場関係者はその影響を彼らの言葉を借りれば「一過性」と見ています）、そしてFRBの人員構成（2人の地区連銀総裁が辞任し、民主党のウォーレン上院議員がパウエル議長の再任に反対しています。なお、後者は俯瞰的に見れば、民主党内での意見対立と言えます）といった問題もありました。

2021年の第2四半期の企業業績は、利益（前期比9.7%増、新型コロナの影響を受けた2020年第2四半期からは94.2%増）、売上高（前期比5.5%増、前年同期比21.7%増）、営業利益率

（13.55%、1993年第1四半期以降の平均は8.07%）と記録更新が続きました。自社株買いと配当金支払いも極めて好調でした（第3四半期の配当支払いは過去最高となりました。来週には関連のリリースを公表する予定です。第2四半期の自社株買いは過去最高額を11%下回りました）。

現時点では、相場が健全な調整を迎えることはかなり前から予想されていたことで、実際に調整局面入りしたとしても驚きはほとんどないでしょう（とはいえ多少の動揺はあるでしょう）。金利の上昇、（願わくは）短期的な新型コロナウイルスの感染拡大、供給不足、不安定な米国の経済的優位性、これら全てが株価下落を正当化する可能性があります。とはいえ結局のところ、調整局面は訪れるものです（買いが止まればそうなるでしょう）。要するに9月の株式市場に関しては、4.76%の下落が調整だとすれば（そんなはずはなく、更に大幅な調整が予想されます）、もう一段の調整が入るということです（新型コロナウイルスが収束した状況で）。

1928年以降で1日の株価の下落率が7.5%以上を記録した営業日は25日ありましたが、そのうちの8日は10月となっています。また、1日の上昇率が7.5%以上となった営業日は29日ありましたが、そのうちの6日が10月でした。

- 1日の株価の変動率が7.5%以上となった全日数の25.9%を10月が占めており、さらに株価が10%以上変動した10日のうちの7日（10%以上の上昇が4営業日、10%以上の下落が3営業日）が10月となっています。

日付	終値	変化率		日付	終値	変化率
1987年10月19日	224.84	-20.47%		1929年10月30日	22.99	12.53%
1929年10月28日	22.74	-12.34%		1931年10月6日	9.91	12.36%
1929年10月29日	20.43	-10.16%		2008年10月13日	1003.35	11.58%
1937年10月18日	10.76	-9.27%		2008年10月28日	940.51	10.79%
2008年10月15日	907.84	-9.04%		1987年10月21日	258.38	9.10%
1987年10月26日	227.67	-8.28%		1931年10月8日	10.62	8.59%
1932年10月5日	7.39	-8.20%				
2008年10月9日	909.92	-7.62%				

過去の実績を見ると、9月は45.2%の確率で上昇し、上昇した月の平均上昇率は3.28%、下落した月の平均下落率は4.60%、全体の平均騰落率は0.99%の下落となっています。2021年9月のS&P株価指数は4.76%の下落でした（9月としては、マイナス7.18%を記録した2011年以降の下落率）。

10月は57.0%の確率で上昇し、上昇した月の平均上昇率は4.13%、下落した月の平均下落率は4.67%、全体の平均騰落率は0.39%の上昇となっています。

今後の米連邦公開市場委員会（FOMC）のスケジュールは、11月2日-3日、12月14日-15日、2022年1月25日-26日、3月15日-16日、5月3日-4日、6月14日-15日、7月26日-27日、9月20日-21日、11月1日-2日、12月13日-14日となっています。

S&P 500 指数は9月に4.76%下落して4,307.54で月を終えました（配当込みのトータルリターンはマイナス4.65%）。8月は4,522.68で終え、2.90%の上昇（同プラス3.04%）となり、7月は4,395.26で終え、2.27%の上昇でした（同プラス2.38%）。過去3カ月では0.23%上昇（同プラス0.58%）、年初来では14.68%上昇（同プラス15.92%）、過去1年間では28.09%上昇（同プラス30.00%）、コロナ危機前の2月19日の終値での高値からは27.21%上昇（同プラス30.62%）して月を終えました。**ダウ・ジョーンズ工業株価平均（ダウ平均）**は4.29%下落の33,843.93で月を終えました（配当込みのトータルリターンはマイナス4.20%）。なお、8月は35,360.73で終え、1.22%の上昇（同プラス1.50%）、過去3カ月では1.91%下落（同マイナス1.46%）、年初来では10.58%上昇（同プラス12.12%）、過去1年間では21.82%上昇（同プラス24.15%）しました。

● 主なポイント

- S&P 500 指数は9月に最高値を1回更新しました（8月は12回）。年初来の最高値更新は54回となり、2020年11月以降、終値での最高値を更新した日が毎月あったこととなります（2020年10月はありませんでしたが、その前の9月と8月は最高値を更新）。
 - S&P 500 指数は9月に4.76%下落しました（配当込みのトータルリターンはマイナス4.65%）。月間の騰落率がマイナスとなったのは2021年1月のマイナス1.11%（同マイナス1.01%）以来です。8月は2.90%上昇（同プラス3.04%）、7月は2.27%上昇（同プラス2.38%）、過去3カ月では0.23%上昇（同プラス0.58%）、年初来では14.68%上昇（同プラス15.92%）、過去1年間では28.09%上昇（同プラス30.00%）しました。
 - 同指数は9月に1回最高値を更新しました。8月の最高値更新は12回、7月は7回でした（6月は8回、5月は1回、4月は10回、3月、2月、1月は5回）。

- コロナ危機前の2020年2月19日の終値での高値からは27.21%上昇し（同プラス30.62%）、その期間に終値ベースで73回、最高値を更新しました。
- バイデン大統領が勝利した2020年11月3日の米大統領選挙以降では、同指数は27.85%上昇（同プラス29.62%）しました（バイデン大統領就任後に52回、最高値を更新しています）。
- 2020年3月23日の底値からの強気相場では92.52%上昇しています（同プラス97.28%）。
- 同指数は（2021年9月2日に記録した）9月の終値での高値となる4,536.95から5.06%下落して月を終えました。
- 2021年第2四半期の決算発表を見ると、431銘柄（86.2%）で利益が予想を上回り、53銘柄で予想を下回り、16銘柄で予想通りとなりました。また売上高では436銘柄（87.4%）が予想を上回りました。
 - 第3四半期については、決算時期がずれている16銘柄が決算発表を終え、12銘柄で利益が予想を上回り、2銘柄で予想を下回り、2銘柄で予想通りとなりました。売上高では15銘柄中11銘柄が予想を上回りました。
- 政治関連では、議会は何とか債務と予算で妥協点を見いだして政府機関の閉鎖を回避しようと奮闘し、1兆ドル規模のインフラ法案と3.5兆ドルの教育・環境・医療関連予算案をめぐる交渉は継続となりました。
 - 議会は2021年12月3日までのつなぎ予算案を可決し、バイデン大統領は、予算が期限切れとなる数時間前に署名しました。
- 市場関係者のS&P 500指数の1年後の目標値はこの1カ月間で上昇し（同指数は9月に下落しましたが）、現在値から16.5%上昇（前月は10.4%上昇）の5,018（かなり強気な予想）と、初めて5,000を突破しました（8月末の目標値は4,993、7月末の目標値は4,905）。ダウ平均の目標値は現在値から16.0%上昇（前月は10.8%上昇）の39,270ドル（かなり強気な予想）となっています（同39,166ドル、同38,796ドル）。

● バイデン大統領と政府高官

- 3.5兆ドルの医療・教育・気候変動関連予算案が具体化し始め、上場企業の自社株買いに2%を課税する案が浮上するなど、議論が続いています。
- 議会は2021年12月3日までのつなぎ予算案を可決し、バイデン大統領は、予算が期限切れとなる数時間前に署名しました。
- 1兆ドルのインフラ法案をめぐるのは、議論が続く中で採決は10月に先送りされ、急進派は3.5兆ドルの気候変動・教育・社会関連法案とセットで成立させたい意向です。

● 新型コロナウイルス関連

- バイデン大統領は、全ての連邦政府職員および業務上の関係者にワクチン接種を義務付けることを発表したほか、労働省の労働安全衛生局（OSHA）に対し、従業員100人以上の全ての企業にワクチン接種または週1回のウイルス検査を義務化するように要請する意向を明らかにしました。
- ロサンゼルスは、12歳以上で学校に通う全ての子供にワクチン接種を義務化しました。
- 学校再開の動きにはばらつきがあり、幼稚園から高校までの国内13万2,000校のうち2,000校以上が、新型コロナウイルスによる休校を続けています。
- 米食品医薬品局（FDA）はPfizer（PFE）製新型コロナワクチンについて、65歳以上と高リスク層を対象にブースター接種（追加接種）を認め、その後、米疾病対策センター（CDC）も承認しました。ブースター接種は近いうちに始まる見通しです。
- Pfizerは、同社製ワクチンで5～11歳の子供にも有効性と安全性が確認されたため、緊急使用許可を申請する意向であると明らかにしました。
- Johnson & Johnson（JNJ）は、同社が開発した1回接種型の新型コロナウイルスワクチンについて、初回接種から2カ月後にブースター接種を行うと抗体レベルが大幅に増加するとの治験結果が得られたことを公表しました。
- 新型コロナウイルスの治療薬と治療法、そして夢の万能薬：
 - 世界全体で62億5,000万人が少なくとも1回のワクチン接種を受けました（8月末時点では52億6,000万人）。
 - ✓ 米国では、現時点で3億9,200万人が1回以上のワクチン接種を受けました（同3億7,000万人）。
 - 人口の64.5%（同61.7%）が少なくとも1回は接種したことになり、人口の55.9%（同52.4%）が2回の接種を終えました。
 - ✓ 米国の1日当たり接種回数の7日平均は70万7,000回に低下しましたが（同90万回）、デルタ変異株の蔓延により接種回数は増加しています。

● 各国中央銀行の動き（および関連ニュース）

- 欧州中央銀行（ECB）は、インフレ率を理由に、新型コロナウイルス危機に対応した債券買い入れプログラム（現在は月額950億ドル）をやや縮小すると発表し、概ね好調な見通しを示しました。
- レポートによれば、ECBはユーロ圏のインフレ率が2025年までに2%に達すると見ており、この予測に基づくと2023年末に利上げを行う可能性もあるとのことです。

- 中国人民銀行は、中国恒大集団をめぐる問題が波及するのを避けるため、銀行システムに4,600億元（710億ドル）の短期資金を注入しました。
- ブラジル中央銀行は、政策金利を1%ポイント引き上げて6.25%としました（年初時点では2%）。高進するインフレに対応するため、10月にさらに1%ポイントの利上げを行う可能性も示唆しています。
- ノルウェー中央銀行は、政策金利を0.25%ポイント引き上げて0.25%としました。さらに、12月に追加の利上げを行い、2022年には1.25%まで引き上げる可能性があることを示唆しました。
- FOMCが開かれ、強気な成長見通しが発表されました。2021年11月にテーパリングが開始され、約8カ月かけて段階的に縮小し、また2022年の後半に利上げを行う可能性が示唆されました。

※しかし、FOMCメンバーの予想を表すドット・プロットでは、利上げのタイミングは2022年と2023年で9人对9人と完全に割れています。市場は、FOMCのメッセージと暫定的なスケジュールを好感し、株価は上昇しました。

● IPO および「空箱」SPAC

- 眼鏡ブランドのWarby Parker (WRBY) は、1株当たり40ドルでニューヨーク証券取引所に直接上場しました。初値は54.49ドル、一時54.74ドルまで上昇しましたが、53.05ドルで月末を迎えました。時価総額は40億ドルです。
- 今後も活発なIPOが見込まれます：
 - 地域SNSを運営するNextdoorはSPACのKhosla Venturesとの合併を通じて上場を計画しており、企業評価額を43億ドルと見込んでいます。
 - デジタル貯蓄・投資アプリを運営するAcornはSPAC経由での上場を計画しており、企業評価額を22億ドルと見込んでいます。
 - イスラエルのデジタル取引プラットフォームのeToro GroupはSPAC (FinTech) 経由で上場すると発表しました。時価総額100億ドルを見込んでいます。
 - 東南アジアでライドシェア、フードデリバリー、送金のアプリを運営しているGrab HoldingsはSPAC経由で上場することを発表し、企業評価額を400億ドルと予想しています。
 - シェアオフィス大手のWeWorkが再び上場を計画しており、上場時の企業評価額として90億ドルを見込んでいます。これに対して、パンデミックにより労働環境が変化するよりもかなり前の2019年の評価額は470億ドルでした。

● 企業業績

- 2021年第2四半期の決算シーズンが終わり、S&P 500 指数構成銘柄のうち利益が予想を上回ったのは431銘柄(86.2%)、予想を下回ったのは53銘柄、予想通りだったのは16銘柄となりました。また、売上高に関しては、436銘柄(87.4%)で予想を上回りました。2021年第2四半期の営業利益は最高益を更新し、それまでの過去最高だった2021年第1四半期から9.7%の増益、2020年第2四半期からは94.2%の増益となりました。注意すべき点として、第2四半期の営業利益は2021年6月30日時点の予想を17.8%上回りました。
 - 2021年第3四半期については、過去最高益を記録した第2四半期から7.2%の減益が予想されていますが、S&P 500 指数の歴史において、第2位となる見通しです。
 - 2021年通年については過去最高益を更新する見通しで、2020年比で62.0%の増益が見込まれており、2021年の予想PERは21.9倍となっています。
 - 2022年は2021年比でさらに9.7%の増益と、再度の最高益更新が見込まれており、2022年の予想PERは19.9倍となっています。
 - 2021年第2四半期の決算発表を終えた銘柄のうち、株式数の減少によってEPSが大きく押し上げられた銘柄の割合は5.4%となりました(2021年第1四半期は5.8%、2020年第2四半期は17.8%、2019年第2四半期は24.2%)。

● 個別銘柄

- Alphabet (GOOG/L) のインターネット検索・広告部門の Google は、ニューヨーク市のオフィスビルを21億ドルで購入すると発表しました(米証券取引委員会に提出された2021年6月30日時点の報告書によれば、同社は560億ドル相当の土地と建物を保有しています)。
- 自動車メーカーの Ford (F) は電気自動車プログラムを加速し、電池工場を3カ所(ケンタッキー州とテネシー州)に新設し、11,000人を新規雇用し、70億ドルを投資する計画を明らかにしました。
- S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスはIT・ソフトウェア持株会社の Ceridian HCM Holding (CDAY)、保険会社の Brown & Brown (BRO)、婚活サイト運営企業の Match Group (MTCH) を S&P 500 指数に採用し、保険持株会社の Unum Group (UNM)、石油・ガスの掘削・生産機器メーカーの NOV (NOV)、製薬大手の Perrigo Company (PRGO) を同指数から除外しました。

● 注目点

- 半導体メーカーの Intel (INTC) は、950億ドルを投じて欧州に各種製品の生産拠点を新設する計画を発表しました。

- 米国10年国債利回りは8月末の1.32%から1.49%に上昇して月を終えました（2020年末は0.92%、2019年末は1.92%、2018年末は2.69%、2017年末は2.41%）。30年国債利回りは8月末の1.94%から2.04%に上昇して取引を終えました（同1.65%、同2.30%、同3.02%、同3.05%）。
- 英ポンドは8月末の1ポンド=1.3744ドルから1.3472ドルに下落し（同1.3673ドル、同1.3253ドル、同1.2754ドル、同1.3498ドル）、ユーロは8月末の1ユーロ=1.1806ドルから1.1577ドルに下落しました（同1.2182ドル、同1.1172ドル、同1.1461ドル、同1.2000ドル）。円は8月末の1ドル=110.14円から111.44円に下落し（同103.24円、同108.76円、同109.58円、同112.68円）、人民元は8月末の1ドル=6.4607元から6.4465元に上昇しました（同6.5330元、同6.9633元、同6.8785元、同6.5030元）。
- 原油価格は8月末の1バレル=68.60ドルから75.26ドルに上昇して月を終えました（同48.42ドル、同61.21ドル、同45.81ドル、同60.09ドル）。米国のガソリン価格（EIAによる全等級）は、8月末の1ガロン=3.237ドルから3.271ドルに上昇して月末を迎えました（同2.330ドル、同2.658ドル、同2.358ドル、同2.589ドル）。
- 金価格は8月末の1トロイオンス=1,815.80ドルから下落して1,755.50ドルで月の取引を終えました（同1,901.60ドル、同1,520.00ドル、同1,284.70ドル、同1,305.00ドル）。
- VIX恐怖指数は8月末の16.48から23.14に上昇して月を終えました。月中の最高は28.79、最低は15.68でした（同22.75、同13.78、同16.12、同11.05）。
 - 同指数の2020年の最高は85.47、最低は11.75でした。

インデックス・レビュー

S&P 500 指数

S&P 500 指数は9月に4.76%下落して4,307.54で月を終えました（配当込みのトータルリターンはマイナス4.65%）。8月は4,522.68で終え、2.90%の上昇（同プラス3.04%）となり、7月は4,395.26で終え、2.27%の上昇でした（同プラス2.38%）。過去3カ月では0.23%上昇（同プラス0.58%）、年初来では14.68%上昇（同プラス15.92%）、過去1年間では28.09%上昇（同プラス30.00%）、コロナ危機前の2月19日の終値での高値からは27.21%上昇（同プラス30.62%）して月を終えました。**ダウ平均**は4.29%下落の33,843.93で月を終えました（配当込みのトータルリターンはマイナス4.20%）。なお、8月は35,360.73で終え、1.22%の上昇（同プラス1.50%）、過去3カ月では1.91%下落（同マイナス1.46%）、年初来では10.58%上昇（同プラス12.12%）、過去1年間では21.82%上昇（同プラス24.15%）しました。

S&P 500 指数の9月の日中ボラティリティ（日中の値幅を安値で除して算出）は8月の0.64%から0.99%に上昇し（7月は0.80%）、年初来では0.97%となりました（8月末時点は0.99%）。2020年は1.73%と2019年の0.85%から上昇し、2018年は1.21%、2017年は0.51%（1962年

以来の最低)でした。**出来高**は前月比9%減少した8月から10%増加しましたが(営業日数調整後)、前年同月比では28%減少し、過去1年間でも11%減少しました。**9月**の前日比で1%以上変動した日数は21営業日中4日となりました(上昇が1日、下落が3日で、8月は21営業日中1日で、下落が1日)。年初来では前日比で1%以上変動した日数は38日(上昇が23日、下落が15日)、2%以上変動した日数は4日(上昇が1日、下落が3日)となりました。2020年は1%以上変動した日数が109日(上昇が64日、下落が45日)、2019年は37日(上昇が22日、下落が15日)でした。9月は21営業日中10日で日中の変動率が1%以上となり(8月は22営業日中4日)、3%以上変動した営業日はありませんでした(8月と7月も0日)。年初来では1%以上の変動が69日、3%以上の変動が2日となりました。2020年は1%以上の変動が158日(11月末時点は154日)、3%以上の変動が34日(同34日)、2019年はそれぞれ73日と1日、危機に見舞われた2008年はそれぞれ228日(253営業日中)と75日でした。

9月は11セクター中1セクターのみが上昇し、8月の10セクター、7月の9セクターを下回りました。エネルギーが9.28%上昇し(8月は2.88%下落)、騰落率首位となりました。同セクターは第3四半期は2.82%下落しましたが、年初来では38.35%上昇と、S&P 500 指数のセクターの中で騰落率首位となっています(ただし、2019年末からはなお13.27%下落)。次にパフォーマンスが「良かった」のは金融で、9月は1.99%下落し、第3四半期は2.29%上昇、年初来では27.36%上昇しました。一般消費財も下落率が大半のセクターよりも小幅となり、2.62%下落し、第3四半期は0.15%下落、年初来では9.76%上昇しました。生活必需品は9月に4.49%下落し(下落率はS&P 500 指数を若干下回る)、第3四半期は0.98%下落、年初来では2.62%上昇しました。素材が7.43%の下落で騰落率最下位となり、第3四半期は3.94%下落、年初来では8.98%上昇しました。コミュニケーションサービスは6.59%下落し、第3四半期は1.40%上昇、年初来では20.78%上昇、情報技術も5.82%下落し、第3四半期は1.13%上昇、年初来では14.51%上昇しました。公益事業は6.42%下落し、第3四半期は0.93%上昇、年初来では1.73%上昇で、S&P 500 指数のセクターの中で騰落率最下位となりました。

9月は値上がり銘柄数が減少し、値下がり銘柄数が大幅に上回りました。9月の値上がり銘柄数は105銘柄(平均上昇率は5.93%)と、8月の325銘柄(同5.45%)と7月の290銘柄(同5.74%)を下回りました。10%以上上昇した銘柄数は18銘柄(同16.48%)と、8月の37銘柄(同13.74%)、7月の39銘柄(同14.19%)から減少しました。1銘柄が25%以上上昇しました(上昇率は36.94%。8月はゼロ、7月は1銘柄)。一方、値下がり銘柄数は400銘柄(平均下落率は6.50%)と、8月の179銘柄(同3.93%)、7月の215銘柄(同5.14%)から増加しました。9月の10%以上下落した銘柄数は70銘柄(同11.90%)と、8月の12銘柄(同13.64%)、7月の26銘柄(同13.93%)から増加しました。25%以上下落した銘柄は5月~8月と同様にありませんでした。過去3カ月間でも、値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回りました。値上がり銘柄数は233銘柄(平均上昇率は6.85%)と、8月末時点の284銘柄(同12.47%)、7月末時点の290銘柄(同10.17%)から減少した一方、値下がり銘柄数は272銘柄(平均下落率は7.46%)と、8月末時点の220銘柄(同8.06%)、7月末時点の214銘柄(同6.82%)から増加しました。10%以上上昇した銘柄数は49銘柄(平均上昇率は17.22%)と、8月末時点の137銘柄(同

20.84%)から減少し、10%以上下落した銘柄も75銘柄(平均下落率は14.95%)と、8月末時点の79銘柄(同14.44%)から減少しました。7銘柄が25%以上上昇した一方(8月末時点は36銘柄)、4銘柄が25%以上下落しました(同ゼロ)。年初来では、値上がり銘柄数は399銘柄(平均上昇率は24.25%)と、8月末時点の442銘柄(同26.29%)から減少した一方、値下がり銘柄数は105銘柄(平均下落率は8.69%)と8月末時点の62銘柄(同7.81%)から増加しました。10%以上上昇した銘柄数は306銘柄(平均上昇率は30.20%)と、8月末時点の355銘柄(同31.49%)から減少した一方、10%以上値下がりした銘柄数は30銘柄(平均下落率は18.78%)と、8月末時点の17銘柄(同17.55%)から増加しました。149銘柄が25%以上上昇し(8月末時点は205銘柄)、6銘柄が25%以上下落しました(同1銘柄)。

世界の株式市場

低調ではあったものの結果的に上昇した7月、大幅に上昇した8月の後、世界の9月の株式市場は4.08%下落しました(9月は相場が下落する月として知られています)。これは2021年1月

(0.21%下落)以来の下落であり、2020年3月(14.61%下落)以降で最も大きな下落となりました。米国市場はアンダーパフォームし、世界の株式市場は下落した市場数が上昇した市場数を大幅に上回りました。新型コロナウイルスのデルタ変異株による感染拡大が続いていますが、そのペースは緩やかになってきています。米国ではワクチン接種を忌避する人が多い中、特定の人々を対象としたワクチンのブースター接種が承認されました。米国以外の国でワクチン接種が進む一方で、米国のワクチン接種率は伸び悩みました。世界の株式市場全体では、9月は4.08%下落しました。米国市場は4.63%下落し、米国を除くグローバル市場は3.34%下落しました。8月は2.35%の上昇で、米国の2.73%上昇を除くと1.84%の上昇でした。9月は50市場中19市場が上昇し、8月の44市場から減少しました(7月は25市場、6月は20市場、5月は36市場が上昇)。

S&Pグローバル総合指数は8月に2.35%上昇した後(米国の2.73%上昇を除くと1.84%上昇)、9月は4.08%下落しました(米国の4.63%下落を除くと3.34%下落)。7月は0.32%の上昇でした(米国の1.68%上昇を除くと1.46%下落)。過去3カ月間では、世界の株式市場は1.52%下落(米国の0.39%下落を除くと3.00%下落)しました。年初来では10.01%の上昇で、米国の14.12%上昇を除くと4.95%上昇しました。過去1年間では27.06%上昇し、米国の30.45%上昇を除くと22.80%の上昇となっています。より長期では、米国のパフォーマンスが突出していました。過去2年間では、グローバル市場は36.67%上昇しましたが、米国の46.96%上昇を除くと24.89%の上昇でした。過去3年間ではグローバル市場は34.46%上昇し、米国の48.24%上昇を除くと19.41%の上昇でした。2020年11月3日の米大統領選挙以降では、グローバル市場は25.99%上昇しましたが、米国の29.28%上昇を除くと21.83%の上昇でした。

S&Pグローバル総合指数の時価総額は9月に1兆9,680億ドル減少しました(8月は1兆8,050億ドル増)。米国以外の市場の時価総額は3,990億ドル減少(同6,590億ドル増)、米国市場は1兆5,690億ドル減少しました(同1兆2,150億ドル増)。9月は11セクター中上昇したのは1セクターだけで、セクター間のばらつきは拡大しました(8月は9セクターが上昇、7月は6セクターが

上昇)。パフォーマンスが最高のセクター（エネルギー、9.43%上昇）と最低のセクター（素材、7.14%下落）の騰落率の差は16.57%となり、8月の4.15%、7月の9.23%から拡大しました。新興国市場は9月に3.42%下落しました。8月は2.69%の上昇（7月は6.40%の下落）でした。過去3カ月間では7.17%の下落、年初来では0.17%の上昇、過去1年間では17.74%の上昇となりました。過去2年間では25.01%上昇、過去3年間では23.23%上昇しています。9月は25市場中8市場が上昇しました（8月は22市場が上昇、7月は10市場が上昇）。パフォーマンスが最高となったのはロシアで9月は5.93%上昇し、過去3カ月間では7.98%上昇、年初来では27.32%上昇しました。2番目はチェコで9月は3.01%上昇し、過去3カ月間では9.92%上昇、年初来では29.93%上昇しました。3番目はカタールで9月は2.91%上昇し、過去3カ月間では6.88%上昇、年初来では9.88%上昇しました。パフォーマンスが最低だったのはブラジルで9月は13.95%下落し、過去3カ月間では21.73%下落、年初来では15.32%下落しました。これに続いたのがトルコで9月は10.47%下落し、過去3カ月間では2.26%上昇、年初来では19.56%下落しました。3番目がパキスタンで9月は8.64%下落し、過去3カ月間では13.23%下落、年初来では10.05%下落しました。

先進国市場は7月の1.19%上昇、8月の2.31%上昇の後、9月は全体で4.17%下落しました。米国を除くと3.32%の下落（8月は1.55%上昇、7月は0.32%上昇）でした。過去3カ月間では0.79%下落、米国を除くと1.50%下落、年初来では11.33%上昇、米国を除くと6.68%上昇となりました。過去1年間では28.30%上昇、米国を除くと24.61%上昇、過去2年間では38.23%上昇、米国を除くと24.96%上昇、過去3年間では36.03%上昇、米国を除くと18.58%上昇となりました。9月は25市場中上昇したのは2市場のみで、8月の22市場、7月の15市場を下回りました。パフォーマンスが最高となったのはノルウェーで、9月は1.85%上昇し、過去3カ月間では2.38%上昇、年初来では14.18%上昇しました。2番目は日本で9月は1.71%上昇し、過去3カ月間では3.60%上昇、年初来では4.09%上昇しました。3番目はイスラエルで9月は1.48%下落し、過去3カ月間では2.16%上昇、年初来では10.547%上昇しました。パフォーマンスが最低だったのはルクセンブルグで9月は9.20%下落し、過去3カ月間では3.68%上昇、年初来では15.83%上昇しました。これに続いたのがスイスで7.49%下落し、過去3カ月間では3.13%下落、年初来では4.11%上昇しました。3番目はスウェーデンで9月は7.40%下落し、過去3カ月間では3.09%下落、年初来では8.90%上昇しました。

注目すべき点として、カナダは9月に2.61%下落し、過去3カ月間では2.88%下落、年初来では15.98%上昇しました。英国は9月に3.20%下落し、過去3カ月間では1.47%の下落、年初来では8.88%の上昇となりました。ドイツは9月に5.84%下落し、過去3カ月間では4.21%下落、年初来では2.81%上昇しました。

S&P500 トータル・リターン：累積

	S&P 500	S&P MidCap 400	S&P SmallCap 600	S&P Composite 1500	ダウ平均
2021年 9月	-4.65%	-3.97%	-2.43%	-4.56%	-4.20%
2021年 年初来	15.92%	15.52%	20.05%	16.02%	12.12%
3カ月	0.58%	-1.76%	-2.84%	0.35%	-1.46%
6カ月	9.18%	1.81%	1.54%	8.52%	3.54%
12カ月	30.00%	43.68%	57.64%	31.38%	24.15%
3年	56.07%	37.08%	31.07%	54.07%	36.76%
5年	118.26%	83.97%	88.92%	115.07%	107.19%
10年	365.86%	294.79%	329.59%	360.32%	294.84%
15年	339.01%	340.10%	335.33%	340.91%	322.64%
20年	514.95%	713.90%	777.61%	539.50%	522.92%
25年	900.57%	1444.24%	1175.32%	940.04%	917.86%

S&P 500 トータル・リターン：年率

	S&P 500	S&P MidCap 400	S&P SmallCap 600	S&P Composite 1500	ダウ平均
12カ月	30.00%	43.68%	57.64%	31.38%	24.15%
3年	15.99%	11.08%	9.44%	15.50%	11.00%
5年	16.90%	12.97%	13.57%	16.55%	15.68%
10年	16.63%	14.72%	15.69%	16.49%	14.72%
15年	10.37%	10.38%	10.30%	10.40%	10.09%
20年	9.51%	11.05%	11.47%	9.72%	9.58%
25年	9.65%	11.57%	10.72%	9.82%	9.73%

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2021年9月末現在。表は図示する目的のためだけのものです。過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。

S&P 500 構成銘柄の騰落状況

上昇／下落	9月	平均パーセント	3カ月	平均パーセント	年初来	平均パーセント
		変化 (%)		変化 (%)		変化 (%)
上昇	105	5.93	233	6.85	399	24.25
下落	400	-6.50	272	-7.46	105	-8.69
10%以上の上昇	18	16.48	49	17.22	306	30.20
10%以上の下落	70	-11.90	75	-14.95	30	-18.78
25%以上の上昇	1	36.94	7	34.16	149	43.82
25%以上の下落	0	0.00	4	-30.07	6	-29.08
50%以上の上昇	0	0.00	1	63.78	32	73.07
50%以上の下落	0	0.00	0	0.00	0	0.00

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2021年9月末現在。表は図示する目的のためだけのものです。過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。

S&P 500指数のセクター株価：2021年9月30日

	年初来	米大統領選以降	最高値以降	直近安値以降	2020年2月高値以降	9月	3カ月	6カ月	1年	2020年以降
S&P 500指数の株価変動	(2021/9/30~2020/11/3)	(2021/9/30~2021/9/2)	(2021/9/30~2020/3/23)	(2021/9/30~2020/2/19)	(2021/8/31~)	(2021/6/30~)	(2021/3/31~)	(2020/9/30~)	(2019/12/31~)	
エネルギー	38.35%	77.46%	8.22%	118.68%	-3.86%	9.28%	-2.82%	7.03%	74.02%	-13.27%
素材	8.98%	19.18%	-7.73%	105.50%	30.72%	-7.43%	-3.94%	0.39%	24.16%	28.71%
資本財・サービス	10.31%	22.01%	-6.82%	100.66%	16.71%	-6.22%	-4.55%	-0.62%	27.07%	20.25%
一般消費財	9.76%	19.20%	-2.52%	100.28%	36.38%	-2.62%	-0.15%	6.62%	18.38%	44.96%
生活必需品	2.62%	8.20%	-5.31%	42.64%	7.93%	-4.49%	-0.98%	2.16%	8.41%	10.45%
ヘルスケア	12.08%	21.31%	-6.72%	70.38%	22.59%	-5.70%	1.02%	9.09%	20.55%	24.89%
金融 (1)	27.36%	51.36%	-1.66%	112.77%	21.20%	-1.99%	2.29%	10.41%	56.04%	22.14%
情報技術	14.51%	31.81%	-5.80%	111.70%	45.64%	-5.82%	1.13%	12.56%	27.71%	62.85%
コミュニケーション・サービス	20.78%	34.35%	-6.43%	94.57%	38.90%	-6.59%	1.40%	12.02%	37.12%	47.57%
公益事業	1.73%	-1.26%	-8.37%	42.52%	-8.62%	-6.42%	0.93%	-0.21%	7.53%	-1.15%
不動産 (2)	22.02%	26.20%	-8.59%	75.33%	8.72%	-6.64%	0.25%	12.59%	27.02%	15.72%
S&P 500	14.68%	27.85%	-5.06%	92.52%	27.21%	-4.76%	0.23%	8.42%	28.09%	33.33%
S&P 500のトータル・リターン	15.92%	29.62%	-4.97%	97.28%	30.62%	-4.65%	0.58%	9.18%	30.00%	37.25%
S&P500の株価	4307.54	3369.16	4536.95	2237.40	3386.15	4522.68	4297.50	3972.89	3363.00	1960.23
パフォーマンスが最高のセクター	38.35%	77.46%	8.22%	118.68%	45.64%	9.28%	2.29%	12.59%	74.02%	62.85%
パフォーマンスが最低のセクター	1.73%	-1.26%	-8.59%	42.52%	-8.62%	-7.43%	-4.55%	-0.62%	7.53%	-13.27%
パフォーマンスの差	36.62%	78.71%	16.81%	76.16%	54.26%	16.72%	6.84%	13.21%	66.50%	76.12%
P 500の年率のプライス・リターン				63.02%						
P 500の年率のトータル・リターン				65.68%						

(1) 金融の2016年9月19日以前は不動産を含む

(2) 不動産の2016年9月19日以前はプロフォーマのデータによる

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2021年9月末現在。表は図示する目的のためだけのものです。過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。

S&P 500騰落率ベスト：2021年9月

ティッカー	会社名	9月	年初来	2020年3月23日以降	2020年2月19日以降	2020年以降	2000年以降	セクター
COG	Cabot Oil & Gas A	36.94%	24.63%	33.66%	53.89%	39.49%	24.99%	エネルギー
CF	CF Industries Holdings	22.90%	8.49%	44.20%	153.27%	41.75%	16.93%	素材
FANG	Diamondback Energy Inc	22.72%	0.83%	95.60%	364.75%	19.40%	1.95%	エネルギー
COP	ConocoPhillips	22.04%	11.28%	69.47%	176.05%	14.36%	4.21%	エネルギー
DVN	Devon Energy Corp	20.17%	21.65%	124.60%	474.60%	56.29%	36.73%	エネルギー
EOG	EOG Resources	18.88%	-3.80%	60.96%	132.40%	3.87%	-4.17%	エネルギー
MRO	Marathon Oil Corp	16.34%	0.37%	104.95%	308.06%	30.56%	0.66%	エネルギー
SIVB	SVB Financial Group	15.62%	16.26%	66.79%	351.70%	142.29%	157.68%	金融
OXY	Occidental Petroleum	15.14%	-5.40%	70.88%	205.26%	-30.42%	-28.22%	エネルギー
MTCH	Match Group, Inc.	14.22%	-2.64%	3.84%	222.30%	106.78%	91.19%	コミュニケーションサービス

S&P 500騰落率ワースト10：2021年9月（スピンオフ等の資本の変動は未調整）

ティッカー	会社名	9月	年初来	2020年3月23日以降	2020年2月19日以降	2020年以降	2000年以降	セクター
LVS	Las Vegas Sands	-17.96%	-30.54%	-38.59%	-15.77%	-47.03%	-46.99%	一般消費財
FDX	FedEx Corp	-17.46%	-26.49%	-15.53%	96.22%	36.09%	45.02%	資本財・サービス
WYNN	Wynn Resorts Ltd	-16.66%	-30.70%	-24.89%	47.21%	-37.76%	-38.97%	一般消費財
BIIB	Biogen Inc	-16.50%	-18.27%	15.57%	5.13%	-17.02%	-4.63%	ヘルスケア
NUE	Nucor Corp	-16.22%	2.67%	85.17%	246.55%	106.43%	75.00%	素材
AOS	A.O. Smith Corp	-16.02%	-15.25%	11.40%	71.54%	38.48%	28.19%	資本財・サービス
GPS	Gap Inc	-15.08%	-32.54%	12.43%	261.46%	32.13%	28.39%	一般消費財
PHM	Pulte Group Inc	-14.74%	-15.85%	6.49%	158.85%	-1.35%	18.35%	一般消費財
WAT	Waters Corp	-13.70%	3.38%	44.41%	120.07%	64.92%	52.92%	ヘルスケア
ENPH	Enphase Energy Inc	-13.68%	-18.33%	-14.53%	445.15%	162.09%	473.94%	情報技術

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2021年9月末現在。表は図示する目的のためだけのものです。過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。

S&P 500銘柄再入れ替え						
追加/除外	発効日	ティッカー	会社名	セクター	サブセクター	注
追加	2021/09/17	CDAY	Canadian HCM Holding	情報技術	アプリケーション・ソフトウェア	S&P中型株400指数から移行
追加	2021/09/17	BRO	Brown & Brown	金融	保険ブローカー	S&P中型株400指数から移行
追加	2021/09/17	MTCH	Match Group	コミュニケーションサービス	インタラクティブ・メディア及びサービス	S&P1500指数に新たに追加
除外	2021/09/17	UNM	Unum Group	金融	生命保険・健康保険	S&P中型株400指数から移行
除外	2021/09/17	NOV	NOV	エネルギー	石油・ガス探査・サービス	S&P中型株400指数から移行
除外	2021/09/17	PRGO	Perigo Company	ヘルスケア	医薬品	S&P中型株400指数から移行
追加	2021/08/27	TECH	Bio-Techne	ヘルスケア	ライフサイエンスツール/サービス	S&P中型株400指数から移行
除外	2021/08/27	MXIM	Maxim Integrated Products	情報技術	半導体	Analog Devices (ADI)により買収
追加	2021/07/20	MRNA	Moderna	ヘルスケア	バイオテクノロジー	S&P1500指数に新たに追加
除外	2021/07/20	ALXN	Alexion Pharmaceuticals	ヘルスケア	バイオテクノロジー	AstraZeneca (AZ)により買収
追加	2021/06/02	OGN	Organon & Co	ヘルスケア	医薬品	Merck (MRK)からスピンオフ
除外	2021/06/03	HFC	HolyFrontier	エネルギー	石油・ガス精製・販売	S&P中型株400指数から移行
追加	2021/05/13	CRIL	Charles River Laboratories International	ヘルスケア	ライフサイエンスツール/サービス	S&P中型株400指数から移行
除外	2021/05/13	FLIR	FLIR Systems Inc	情報技術	電子装置・機器	Teledyne Technologies (TDY)により買収
追加	2021/04/19	PTC	PTC Inc.	情報技術	アプリケーション・ソフトウェア	S&P中型株400指数から移行
除外	2021/04/19	VAR	Varian Medical Systems Inc	ヘルスケア	ヘルスケア機器	Siemens Healthineers AG (SHL)により買収
追加	2021/03/19	NXPI	NXP Semiconductors	情報技術	半導体	S&P1500指数に新たに追加
追加	2021/03/19	PENN	Penn National Gaming	一般消費財	カジノ・ゲーム	S&P中型株400指数から移行
追加	2021/03/19	GNRC	Generac Holdings	資本財・サービス	電気部品・設備	S&P中型株400指数から移行
追加	2021/03/19	CZR	Caesars Entertainment	一般消費財	カジノ・ゲーム	S&P中型株400指数から移行
除外	2021/03/19	FLS	Fluorine	資本財・サービス	産業機械	S&P中型株400指数から移行
除外	2021/03/19	SLG	SL Green Realty	不動産	オフィス不動産投資信託	S&P中型株400指数から移行
除外	2021/03/19	KRX	Kerox Holdings	情報技術	認識	S&P中型株400指数から移行
除外	2021/03/19	VNT	Vontier	情報技術	電子装置・機器	S&P中型株400指数から移行
追加	2021/02/11	MPWR	Monolithic Power Systems Inc.	情報技術	半導体	S&P中型株400指数から移行
除外	2021/02/11	FTI	TechnipFMC plc	エネルギー	石油・ガス装置・サービス	Technip Energiesをスピンオフ
追加	2021/01/20	TRMB	Trimble Inc	情報技術	電子装置・機器	S&P中型株400指数から移行
除外	2021/01/20	CXO	Concho Resources Inc.	エネルギー	石油・天然ガス探査・生産	ConocoPhillips (COP)により買収
追加	2021/01/06	ENPH	Enphase Energy	情報技術	半導体装置	S&P中型株400指数から移行
除外	2021/01/06	TIF	Tiffany & Co	一般消費財	専門店	LVMH Moët (LVMHF)により買収
追加	2020/12/18	TSLA	Tesla Inc	一般消費財	自動車製造	S&P1500指数に新たに追加
除外	2020/12/18	AIV	Apartment Investment & Mgt	不動産	住宅用不動産投資信託	スピンオフしたApartment Income REIT Corp
追加	2020/10/09	VNT	Vantier Corp	情報技術	電子装置・機器	Furthe (FTV)からスピンオフ
除外	2020/10/09	NGL	Noble Energy	エネルギー	石油・天然ガス探査・生産	Chevron (CVX)により買収
追加	2020/10/06	POOL	Pool Corp	一般消費財	販売	S&P中型株400指数から移行
除外	2020/10/06	ETFC	E*TRADE Financial Corp	金融	投資銀行・証券会社	Morgan Stanley (MS)により買収
追加	2020/09/18	ETSY	Etsy Inc	一般消費財	インターネット販売・カタログ販売	S&P中型株400指数から移行
追加	2020/09/18	TER	Teradyn Inc	情報技術	半導体装置	S&P中型株400指数から移行
追加	2020/09/18	CLT	Caleat Inc	ヘルスケア	医薬品	S&P中型株400指数から移行
除外	2020/09/18	HRB	H&R Block Inc	一般消費財	専門消費者サービス	S&P中型株400指数から移行
除外	2020/09/18	COTY	Coty Inc	生活必需品	パーソナル用品	S&P中型株400指数から移行
除外	2020/09/18	KSS	Kohl's Corp	一般消費財	百貨店	S&P中型株400指数から移行
追加	2020/06/19	TYL	Tyler Technologies	情報技術	アプリケーション・ソフトウェア	S&P中型株400指数から移行
追加	2020/06/19	BIO	Bio-Rad Laboratories	ヘルスケア	ライフサイエンス・ツール/サービス	S&P中型株400指数から移行
追加	2020/06/19	TDY	Teledyne Technologies	資本財・サービス	航空宇宙・防衛	S&P中型株400指数から移行
除外	2020/06/19	HOG	Harley-Davidson	一般消費財	自動車・輸送	S&P中型株400指数から移行
除外	2020/06/19	JWN	Nordstrom	一般消費財	百貨店	S&P中型株400指数から移行
除外	2020/06/19	ADS	Alliance Data Systems	情報技術	データ処理・外注サービス	S&P中型株400指数から移行
追加	2020/05/21	WST	West Pharmaceutical Services Inc	ヘルスケア	ヘルスケア用品	S&P中型株400指数から移行
除外	2020/05/21	HP	Helmerich & Payne Inc	エネルギー	石油・ガス掘削	S&P中型株600指数から移行
追加	2020/05/11	DXCM	DexCom Inc	ヘルスケア	ヘルスケア機器	S&P1500指数に新たに追加
追加	2020/05/11	DPZ	Dominos Pizza Inc	一般消費財	レストラン	S&P中型株400指数から移行
除外	2020/05/11	AGN	Allergan plc	ヘルスケア	ヘルスケア機器	Abbvie (ABBV)により買収
除外	2020/05/11	CPB	Capri Holdings	一般消費財	アパレル・アクセサリー・靴	S&P中型株600指数から移行
除外	2020/04/03	RTN	Raytheon	資本財・サービス	航空宇宙・防衛	United Technologies(現Raytheon (RTX))により買収
除外	2020/04/03	M	Macy's	一般消費財	百貨店	S&P中型株600指数に追加
追加	2020/04/02	OTIS	Otis Worldwide	資本財・サービス	産業機械	United Technologies (UTX)からスピンオフ
追加	2020/04/02	CARR	Carrier Global	資本財・サービス	環境関連製品	United Technologies (UTX)からスピンオフ
追加	2020/03/02	GDI	Gardner Denver Holdings Inc	資本財・サービス	産業機械	S&P1500指数に新たに追加
除外	2020/03/02	KEC	Kimirex Energy Co	エネルギー	石油・天然ガス探査・生産	S&P中型株400指数から移行
追加	2020/01/27	PAYC	Paycom Software	情報技術	アプリケーション・ソフトウェア	S&P1500指数に新たに追加
除外	2020/01/27	WCG	WellCare Health Plans	ヘルスケア	管理健康保険	Centene (CNC)により買収
追加	2019/12/20	LVY	Live Nation Entertainment Inc	コミュニケーション・サービス	映画・娯楽	S&P中型株400指数から移行
追加	2019/12/20	STZ	STERIS plc	ヘルスケア	ヘルスケア機器	S&P中型株400指数から移行
追加	2019/12/20	ZBRA	Zebra Technologies Corp	情報技術	電子装置・機器	S&P中型株400指数から移行
除外	2019/12/20	AMG	Affiliated Managers Group Inc	金融	資産運用会社・資産管理会社	S&P中型株400指数から移行
除外	2019/12/20	MAC	Macerich Co	不動産	店舗用不動産投資信託(REIT)	S&P中型株400指数から移行
除外	2019/12/20	TRIP	TripAdvisor Inc	コミュニケーション・サービス	インタラクティブ・メディア及びサービス	S&P中型株400指数から移行
追加	2019/12/06	ODFL	Old Dominion Freight Line Inc	資本財・サービス	輸送	S&P中型株400指数から移行
除外	2019/12/06	STJ	SunTrust Banks Inc.	金融	地方銀行	BB&T (BBT)により買収
除外	2019/12/04	WRB	W.R. Berkley Corp	金融	動産保険・損害保険	S&P中型株400指数から移行
除外	2019/12/04	VIAB	Viacom Inc	コミュニケーション・サービス	映画・娯楽	CBS (CBS)により買収
追加	2019/10/02	LVS	Las Vegas Sands Corp	一般消費財	カジノ・ゲーム	S&P1500指数に新たに追加
除外	2019/10/02	NKTR	Nektar Therapeutics	ヘルスケア	医薬品	S&P中型株400指数に追加
追加	2019/09/25	NVR	NVR	一般消費財	住宅建設	S&P中型株400指数から移行
除外	2019/09/25	IEF	iEfferies Financial Group	金融	マルチセクター持ち株会社	S&P中型株400指数から移行
追加	2019/09/20	CDW	CDW Corp	情報技術	テクノロジー・ディストリビュータ	S&P1500指数に新たに追加
除外	2019/09/20	TSS	Total System Services	情報技術	データ処理・外注サービス	Global Payments (GPN)により買収
追加	2019/08/08	LDOS	Lidos Holdings Inc	情報技術	ITコンサルティング・その他のサービス	S&P中型株400指数から移行
追加	2019/08/08	DEX	IDEX Corp	資本財・サービス	産業機械	S&P中型株400指数から移行
除外	2019/08/08	APC	Anadarko Petroleum Corp	エネルギー	石油・天然ガス探査・生産	Occidental Petroleum (OXY)により買収
除外	2019/08/08	FL	Foot Locker Inc	一般消費財	衣料小売り	S&P中型株400指数から移行
追加	2019/07/11	TMUS	T-Mobile US Inc	コミュニケーション・サービス	無線通信サービス	S&P1500指数に新たに追加
除外	2019/07/11	RHT	Reckitt Inc	情報技術	システムソフトウェア	Int'l Bus Machines (IBM)により買収
追加	2019/06/28	MKTX	MarketAxess Holdings Inc	金融	金融取引前・データ	S&P中型株400指数から移行
除外	2019/06/28	LLL	LLN Technologies Inc	資本財・サービス	航空宇宙・防衛	Harris Corp (HRS)により買収
追加	2019/05/31	CTVA	Corteva Inc	農材	肥料・農薬	DowDuPontからスピンオフ
除外	2019/05/31	FLR	Fluor Corp	資本財・サービス	建設・土木	S&P中型株400指数に追加
追加	2019/04/01	DOW	Dow	農材	基礎化学品	DowDuPontからスピンオフ
除外	2019/04/02	BHF	Brightstone Financial	金融	生命保険・健康保険	S&P中型株400指数に追加
追加	2019/02/26	WAB	Webcor Corp	資本財・サービス	建設機械・大型トラック	S&P中型株400指数から移行
除外	2019/02/26	GT	Goodyear Tire & Rubber	一般消費財	タイヤ・ゴム	S&P中型株400指数から移行
追加	2019/02/14	ATO	Atmos Energy Corp	公益事業	ガス	S&P中型株400指数から移行
除外	2019/02/14	NFX	Newfield Exploration	エネルギー	石油・天然ガス探査・生産	EnCana (ECA)により買収

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2021年9月末現在。表は図示する目的のためだけのものです。過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。

10月	イベント
2021年10月1日	8月の個人所得・個人消費支出
2021年10月1日	9月のマークイット製造業PMI（午前9時45分発表）
2021年10月1日	9月のISM製造業景況指数（午前10時発表）
2021年10月1日	8月の建設支出（午前10時発表）
2021年10月1日	9月のミシガン大学消費者信頼感指数確報値（午前10時発表）
2021年10月4日	8月の製造業受注（午前10時発表）
2021年10月4日	9月の自動車販売台数
2021年10月5日	8月の貿易収支
2021年10月5日	9月のマークイットサービス業PMI（午前9時45分発表）
2021年10月5日	9月のISM非製造業景況指数（午前10時発表）
2021年10月6日	9月のADP全米雇用統計
2021年10月8日	9月の雇用統計
2021年10月8日	8月の卸売売上高（午前10時発表）
2021年10月12日	8月のJOLTS（Job Openings and Labor Turnover Survey、求人労働異動調査、午前10時発表）
2021年10月13日	9月の消費者物価指数
2021年10月13日	米連邦公開市場委員会（FOMC）議事録（午後2時発表）
2021年10月14日	9月の卸売物価指数
2021年10月15日	9月の小売売上高
2021年10月15日	9月の輸出・輸入物価統計
2021年10月15日	8月の企業在庫（午前10時発表）
2021年10月15日	10月のミシガン大学消費者信頼感指数（午前10時発表）
2021年10月18日	9月の鉱工業生産
2021年10月18日	10月のNAHB住宅市場指数（午前10時発表）
2021年10月19日	1987年のブラックマンデーの暴落。この日にS&P 500指数は22.47%下落。
2021年10月19日	9月の住宅着工件数と建設許可件数
2021年10月21日	9月の中古住宅販売件数（午前10時発表）
2021年10月21日	9月の景気先行指数（午前10時発表）
2021年10月22日	10月のマークイット総合PMI速報値（午前9時45分発表）
2021年10月26日	8月のS&Pコアロジック・ケース・シラー住宅価格指数
2021年10月26日	8月のFHFA住宅価格指数
2021年10月26日	9月の新築住宅販売件数（午前10時発表）
2021年10月26日	10月のコンファレンスボード消費者信頼感指数（午前10時発表）
2021年10月27日	9月の耐久財受注
2021年10月27日	9月の財の貿易収支
2021年10月27日	9月の小売在庫
2021年10月27日	9月の卸売在庫
2021年10月28日	1929年のウォール街大暴落。この日にS&P 500指数は12.34%下落。
2021年10月28日	2021年第3四半期の国内総生産（GDP）成長率速報値
2021年10月28日	9月の中古住宅販売仮契約指数（午前10時発表）
2021年10月29日	1929年のウォール街大暴落。この日にS&P 500指数は10.16%下落。
2021年10月29日	10月のミシガン大学消費者信頼感指数確報値（午前10時発表）
毎水曜日	週間住宅ローン申請指数
毎水曜日	EIA週間石油在庫統計（午前10時30分発表）
毎木曜日	週間新規失業保険申請件数

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2021年9月末現在。表は図示する目的のためだけのものです。過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。

免責事項

著作権© 2021年 S&Pグローバルの一部門であるS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC。不許複製、Standard & Poor's、S&P、S&P 500、は、S&Pの一部門であるスタンダード・アンド・プアーズ・フィナンシャル・サービシズLLC（以下「S&P」）の登録商標です。LATIX、MEXICO TITANS及びSPCIは、S & Pグローバル部門であるスタンダード・アンド・プアーズ・フィナンシャル・サービシズLLC（以下「S&P」）の商標です。「ダウ・ジョーンズ」は、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズLLC（以下「ダウ・ジョーンズ」）の登録商標です。商標は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCにライセンス供与されています。本資料の全体または一部の再配布、複製、そして（または）複写を書面による承諾なしに行うことを禁じます。本資料は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ、S&Pまたはそれぞれの関連会社（これらを合わせて「S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス」という）が必要なライセンスを持たない地域におけるサービスの提供を行うものではありません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが提供する全ての情報は、個人とは無関係であり、いかなる個人、事業体または集団のニーズに合わせて調整したものではありません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、その指数を第三者にライセンス供与することに関連した報酬を受けています。指数の過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。

指数に直接投資することはできません。指数が表すアセット・クラスへのエクスポージャーは、指数に基づく投資可能商品を通して得られます。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、第三者が提供し、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの指数のリターンに基づく投資リターンを提供することを目指す投資ファンド、或いはその他のピークルを提供、推奨、販売、宣伝、或いは運用することはありません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、指数に基づく投資商品が指数のパフォーマンスに正確に連動し、プラスの投資リターンを上げることについて保証しません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCは投資顧問会社ではなく、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、そうした投資ファンド或いはその他の投資ピークルに投資する適否に関して表明することはありません。そうした投資ファンド或いはその他の投資ピークルへの投資決定は、本資料で言及されたいかなる部分も信頼して実行されるべきではありません。そうしたファンド或いはその他のピークルに投資しようとする投資家に対して、投資ファンド或いはその他のピークルの発行体またはその代理人が作成する目論見書または類似文書に記載されているように、そうしたファンドへの投資に伴うリスクを注意深く検討した上で投資することを助言します。指数への証券の組入は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスによるその証券の買い、売り、または保有の推奨ではなく、また投資助言でもありません。S&Pの米国のベンチマーク指数及びダウ・ジョーンズの米国のベンチマーク指数の終値は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスが、指数構成銘柄の各主要取引所が設定する終値に基づいて計算します。終値はS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスがサードパーティ・ベンダーの1社から受け取り、別のベンダーから届く価格と比較することにより検証されます。各ベンダーは終値を主要取引所から受け取ります。日中の実時間価格は、2次検証を経ずに同様に計算されます。

これらの資料は、信頼できると考えられる情報源から一般に公衆が入手できる情報に基づき、情報提供のみを目的として作成されたものです。本資料に記載されるいかなる内容（指数データ、格付、クレジット関連の分析とデータ、モデル、ソフトウェア、或いはその他のアプリケーションまたはそれからの出力）も他のいかなる部分（以下「内容」という）も、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスによる事前の書面による承認なくして、いかなる形式といかなる手段によっても、改変、リバースエンジニアリング、再製または配布、或いはデータベースまたは検索システムへの保存を行うことはできません。内容を、不法な或いは未認可の目的に使用してはいけません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス及びいかなるサードパーティ・データ・プロバイダー及びライセンサー（合わせて「S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス当事者」という）も、内容の正確性、完全性、適時性或いは利用可能性を保証しません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる過誤、遺漏についても、原因の如何を問わず、内容を用いて得られた結果について責任を負いません。内容は、「現状」ベースで提供されています。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、特定の目的または利用に対する販売可能性または適合性についてのいかなる保証も、バグやソフトウェアのエラーまたは欠陥がないこと、内容の機能が中断されないこと、或いは内容が何らかのソフトウェアまたはハードウェア構成により動作することの保証も、以上を含みそれに限定されない、あらゆる明示的または暗示的保証も拒否します。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる場合も、いかなる当事者に対しても、内容の使用に関連して発生する、いかなる直接的、間接的、偶発的、典型的、補償的、懲罰的、特殊な或いは結果的な損害、費用、経費、法的費用、或いは損失に対しても（逸失収入または逸失利益、及び機会費用を含みそれに限定されず）、たとえ損害の可能性について事前に通告を受けていようと、責任を負いません。

格付けやリサーチ、バリエーションなどのクレジット関連及びその他の分析は通常、スタンダード・アンド・プアーズ・フィナンシャル・サービシズLLCやキャピタルIQインク（それらに限定されず）などのS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの関連会社が提供します。そうした分析や内容の記述は、表明された日付時点における意見の記述であり、事実を記述しているものではありません。いかなる意見、分析及び格付確認決定も、いかなる証券を購入、保有、または売却するか、或いは投資決定を行うことの推奨ではなく、いかなる証券の適合性を示すものではありません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、いかなる様式または形式であれ公表後に内容を更新する義務を負いません。投資やその他のビジネス上の意思決定を行う際に、内容に頼るべきではなく、内容はユーザーやその経営者、従業員、アドバイザー、及び（または）顧客などのスキルや判断、経験の代替にはなりません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCは、受託者または投資アドバイザーとして行動することはありません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは信頼できると考える情報源から情報を入手しますが、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、入手する情報の監査を行わず、デューデリジェンスまたは独立した検証の義務を負うこともありません。

格付け機関が、ある管轄区においてある特定の規制目的のために別の管轄区で発行された格付けを承認することを規制当局が許す限りは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスはいつでもその裁量で、そうした承認を割当て、取り下げ、或いは停止する権利を留保します。S&Pレーティングズ・サービシズを含むS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、承認の割当て、取り下げ、または停止に起因するいかなる義務も、またそのために被ったと主張されるいかなる損害の賠償責任も拒否します。

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの関連会社は、格付け及び特定のクレジットに関連する分析に対して、通常は発行体または証券の引受会社または債務者から報酬その他の経済的便益を受ける場合があります。係るS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの関連会社は、その意見と分析を公表する権利を留保します。S&Pレーティングズ・サービシズから公開される格付けや分析は、そのウェブサイトwww.standardandpoors.com（無料）、www.ratingsdirect.com及びwww.globalcreditportal.com（有料）から入手可能であり、S&Pレーティングズ・サービシズの出版物や第三者再配布業者などを通じたその他の手段でも配布される場合があります。弊社の格付け利用料に関する詳しい情報は、www.standardandpoors.com/usratingsfeesから入手できます。

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、各事業部の活動の独立性と客観性を維持するために、それぞれの活動を他から隔離しています。その結果、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの一部の事業部は、他の事業部では入手できない情報を保有する可能性があります。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、各分析プロセスの中で受け取った非公開情報の機密を守る方針及び手順を確立しています。

さらに、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、広範なサービスを、証券の発行体、投資顧問会社、証券会社、投資銀行、その他の金融機関及び金融仲介業者など多くの組織に提供しています。したがって、これらの組織から報酬その他の経済的便益を受ける可能性があります。これらの組織には、証券やサービスを推奨し、格付け評価し、モデルポートフォリオに組入れ、評価するか別の対応を行う組織が含まれます。

グローバル業種分類基準 (GICS®) は、スタンダード・アンド・プアーズ及びMSCIによって開発され、両社の独占的所有物であり登録商標です。MSCI、スタンダード・アンド・プアーズ及びGICS業種分類の編纂、計算、作成に関わるその他の当事者のいずれも、係るデータの保証や表現（またはその使用により得られた結果）に関していかなる表明や示唆も行っておらず、そうしたすべての当事者は明示的に、特定の目的に照らした係るデータの独自性、正確性、完全性、販売可能性、適合性に関するいかなる保証も拒否します。前述の内容に制限を加えることなく、いかなる場合もMSCI、スタンダード・アンド・プアーズ及びその関連会社及びGICS業種分類の作成または編纂に関わるサードパーティは、いかなる直接的、間接的、特殊的、懲罰的、結果的、その他の損害（逸失利益を含む）について、例え損害の可能性について事前に通告を受けていようとも、責任を有していません。

このレポートは、英文原本から参照用の目的でS&Pダウ・ジョーンズ・インデックス (SPDJ) が作成したものです。SPDJは、翻訳が正確かつ完全であるよう努めましたが、その正確性ないし完全性につきこれを保証し表明するものではありません。英文原本についてはこちらをご参照ください。https://www.spglobal.com/spdji/en/documents/performance-reports/sp-global-equity-indices-monthly-update.pdf?force_download=true